

公安委員会定例会議開催状況

1 開催日時 令和8年1月21日（水）午前9時45分から午前11時43分まで

2 開催場所 公安委員会室

3 出席者

(1) 公安委員会

久保田委員長 入内島委員 有田委員

(2) 警察本部

本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長

情報通信部長 首席監察官 サイバーセンター長 警察学校長

生活安全部管理官 刑事企画課長 暴力団対策室長 運転管理課聴聞官

公安委員会室長

4 議事の概要

(1) 報告事項

ア 初任科第232期生卒業式の実施について

警察本部から、上記の件について報告があった。

イ 特殊詐欺等抑止対策の推進状況について（令和7年中）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「特殊詐欺等の被害は高止まりの状態であり、近年は高齢者のみならず、若年層にも広がっている状況を理解した。県警は既に高齢者だけではなく、全世代に向け施策を推進しているので、今後はさらに被害を減らせるような施策を望む。」と意見があった。

また、委員から「特殊詐欺等は、警察に届出されない暗数はあるか。」と質問があり、警察本部から「かなりの数があるものと推定する。」と回答があった。

さらに、委員から「被害にあった人が、警察に届出をしやすいような方策も考えていただきたい。」と意見があった。

ウ 110番通報受理状況について（令和7年中）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「警察相談電話#9110の周知を図っていただきたい。また、電話番号末尾「0110」の管轄する警察署に架けても、相談を受け付けていることも周知していただきたい。」と意見があった。

また、委員から「110番通報は依然として増加傾向にあることから、今後の通信指令課の110番通報の受付体制に支障はないか。」と質問があり、警察本部から「現時点では支障はないが、今後の推移を注視し、適切に対応していく。」と回答があった。

エ 刑法犯の認知・検挙状況について（令和7年中）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「銅線の盗難が減少したのは、事件の検挙とその周知の成果だと考えられる。増加傾向にあるタイヤの盗難や空き巣も、検挙と抑止の対策を講じていきたい。」と意見があった。

また、委員から「空き巣の被害にあう可能性のある空き家の状況を把握できるのは地方自治体の持つ情報である。さらなる地方自治体との連携・協力を模索していただきたい。」と意見があった。

さらに、委員から「検挙・抑止の両面に効果を見込めるのは防犯カメラであるので、地方自治体や民間とも連携し、普及を図っていただきたい。」と意見があった。

オ 交通人身事故発生状況について（令和7年中）【確定値】

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「交通死亡事故が前年比マイナスであったとはいえ、まだ交通安全教育を行き渡らせる余地のある死亡事故も存在するので、一層効果的な指導や安全教育を図っていただきたい。」と意見があった。

また、委員から「高齢者が関係する交通事故が減少しており、関係警察職員の努力をねぎらうとともに、さらに実情に合った指導や安全教育に努めていただきたい。」と意見があった。

さらに、委員から「県内の一時停止や横断歩道での歩行者優先の意識が以前よりも高まっているように感じる。今後もこういった意識がさらに定着するよう健闘を期待する。」と意見があった。

カ 関越自動車道新潟線における大規模多重事故の発生について

委員から「事故当時の道路状況から見て交通規制等は適切であったのか。」と質問があり、警察本部から「今後の捜査等を通じ、当時の交通規制とその遵守状況の確認が必要であると認識している。」と回答があった。

また、委員から「今後、事故の原因や状況が明らかになるよう、詳細な捜査を期待する。」と意見があった。

（2）決裁事項

ア ストーカー規制法に基づく禁止命令及び警告の実施状況等について（令和7年第4四半期）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 指定司法警察員の裁判所への通知について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

ウ 組織犯罪対策第二課所管の公安委員会事務に関する専決状況について（令和7年第4四半期）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

エ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案14件の意見聴取結果及び5件の聴聞結果について説明があり、決裁した。

オ 運転免許の取消し（事後取消し）予定について
警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。